



神小だより

ホームページアドレス <http://kamiyama-es.agano.ed.jp/>

阿賀野市立神山小学校

学校だより 7月号

保護者・地域版

H29年7月12日



**「ツバメと共に、40年の歴史と伝統を受け継ぎ、
未来へ向かって走り出す神山小学校の子どもたち」**

校長 鈴木 正彦

梅雨明けが待ち遠しいこのごろです。1学期も残すところ約2週間となりました。子どもたちは、1学期の締めくくりに全力で取り組んでいます。

ところで、最近驚きながらもうれしいことがありました。

神山小学校の外側玄関のひさしの内側に、ツバメが巣を作りました。現在、かわいい雛が2～3羽大きな口を開けて、親鳥がえさを運んでくれるのを心待ちにしています。ここ数日は、親鳥が頻繁にえさを運んでいる様子が見られます。子どもたちも興味津々で観察しています。

ツバメは、別名ツバクロ、ツバクラメとも呼ばれ、古くから親しまれてきました。物語やことわざにも多く取り上げられてきました。昔からツバメが巣を作ると縁起がいいとも言われ、様々な言い伝えがあります。

○ツバメが巣を作る家は繁栄する。

ツバメはカラスやヘビなどの天敵から身を守るために、人通りの多い家の玄関に巣を作ります。そこで、人通りが多い＝お客さんが多く出入りする＝商売繁盛につながるということです。

○安全で運気のよい家の象徴＝清潔、火事にならない、病人が出ない

○豊作をもたらしてくれる

ツバメは昔より、水田の害虫を食べてくれる益鳥として大切にされてきました。お米がたくさん取れることが裕福に暮らせることにつながるのです。特に農家の人から大切にされたそうです。

他にもいろいろありますが、まとめて言うと「ツバメが巣を作ると縁起がよい。」ということですね。

創立40周年を迎えた神山小学校は、今後ますます発展していきます。40年の歴史と伝統を受け継ぎ、未来（夢）へ向かって走り出します。

神山小学校は、地域の中心として、笑顔あふれる子どもたちが集う学校であり続けます。

これらの実現を、ツバメが約束してくれたものと信じています。そして、これらの思いを、改めて神山小学校の子どもたちと、確認をしたいと思えます。

1学期は、神山小学校の子どもたちは本当によくがんばりました。学習や運動に、精一杯取り組んでいました。6年生はあらゆる場面で、全校の先頭に立って下級生をリードしながら、活動を盛り上げてくれました。1年生は、すっかり神山小学校の一員として、毎日元気に活動しています。2年生から5年生のみなさんも、下級生を助け上級生と協力しながら、よりよい神山小学校を創り上げています。



さて、子どもたちは、7月26日より長い夏休みに入ります。きちんと計画を立て、夏休みだからこそできるものにチャレンジしてほしいと思います。9月1日の始業式には、一回りも二回りも成長した子どもたちに会えることを楽しみにしています。

保護者地域の皆様、1学期間神山小学校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。